

三島村地域公共交通総合連携計画策定調査業務（鹿児島県三島村）－三島村新交通ネットワーク協議会

地域の現状と課題(提案の背景)

・過疎化少子化による人口減少が続いており、地域内からの自発的な活性化の気運が生まれにくい現状にあり、若者が少なく観光に対する取り組みやイベントや地域行事の開催に支障を来している。また、地域交通は週3便の本土と結ぶ船便のみで村民の利便性の向上が望まれている。

目指すべき地域活性化の全体

◆航路の活性化への取り組み◆

○取組のねらい・実施主体間の連携等

- ・三島村航路を活性化させるために利用促進、需要創出を図るべく、官民共同により取り組む地域公共交通総合連携計画を策定する。
- ・三島村と関係機関で連絡協議会を設置し実施する

○主な取組

取組 「地域公共交通総合連携計画の策定」

- ①三島村及び三島航路の現状調査
- ②三島航路の実態と航路延伸に関するニーズの把握調査
- ③島外利用可能性の把握調査
- ④三島航路の延伸による効果・影響の分析調査
- ⑤三島航路の活性化策の検討
- ⑥試験運航の実施

◆H21年度以降の展開◆

- ・新航路による島民の利便性の向上と三島村と南薩摩地域の連携による観光ツアーの事業化のための検証と実施

